

車椅子意見書

(令和8年7月改訂)

氏 名		生年月日	年	月	日	() 歳
住 所						
障害名					等級	級

1 神経学的所見及びその他の機能障害の所見（該当するものを○でかこむこと）

(1) 原因となった疾病・外傷名 【 交通・労災・疾病・先天性・その他 () 】

[
 ※発生年月日 (年 月 日頃)
]

(2) 起因部位: 脳 ・ 脊髄 ・ 末梢神経 ・ 筋肉 ・ 骨関節 ・ その他 ()

(3) 運動障害: (下記図示): 弛緩性麻痺・痙性麻痺・固縮・不随意運動・振戦・運動失調・その他 ()

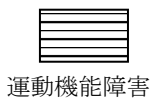
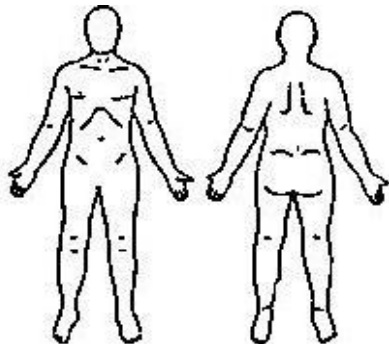
(4) 感覚障害: (下記図示): 感覚脱失・感覚鈍麻・異常感覚・その他 () ・ なし

(5) 排尿・排便機能障害: あり・なし (6) 言語機能障害: 失語・構音障害・なし

(7) 聴力障害: あり・なし (8) 視力障害: あり・なし

(9) 心肺機能障害: あり・なし (10) 高次脳機能障害: 失認・失行・その他・なし

参考図示



運動機能障害



感覚障害



切離断



褥瘡



拘縮



変形

握力 右 () kg 左 () kg 体重 () kg 身長 () cm

参考となる経過・現症（腱反射・病的反射・筋萎縮計測・その他）

その他の医学的所見

日常生活動作状況（自立－○ 半介助－△ 全介助又は不能－×

（ ）の中のものを使う時はそれに○

寝返りをする		シャツを着て脱ぐ	
足を投げ出して座る		ズボンをはいて脱ぐ（自助具）	
椅子に腰かける		ブラシで歯をみがく（自助具）	
立つ（手すり、壁、松葉杖） （義肢、装具）		顔を洗いタオルで拭く	
		タオルを絞る	
室内を（壁、杖、松葉杖） 移動する（義肢、装具、車いす）		背中を洗う	
		食事をする（スプーン、箸、自助具）	
屋外を（家の周辺程度） 移動する（杖、松葉杖、車いす）		コップで水を飲む	
		洋式便器にすわる	
二階まで階段を上がって下りる （手すり、杖、松葉杖）		排泄のあと始末をする	
		公共の乗物を利用する	

2 生活地

(1) 在宅 (2) 施設入所中(施設名) (3) その他 ()

3 車椅子使用目的及び操作能力

- (1) 使用目的： 常時多目的 ・ 職業用 ・ 通勤 ・ 通学 ・ 通院 ・ その他 ()
- (2) 操作能力： 屋内： 自立 ・ 要監視 ・ 半介助 ・ 全介助 (連続 m操作可能)
屋外： 自立 ・ 要監視 ・ 半介助 ・ 全介助 (連続 m操作可能)
- (3) 移乗動作： 車椅子⇄ベッド： 自立 ・ 時間要 ・ 半介助 ・ 全介助
車椅子⇄トイレ： 自立 ・ 時間要 ・ 半介助 ・ 全介助

4 車椅子処方（実用性を考慮しての処方とすること。）

(1) 本体（用）： ア 自走用 イ 介助用

（機構）： ア リクライニング機構 イ ティルト機構 ウ ティルト・リクライニング機構
エ リフト機構

リクライニング機構等を必要とする理由

(2) 製作方式 ア モジュラー式（処方は車椅子処方箋に記載すること。カタログを添付すること。）

メーカー名：

品 番：

イ オーダーメイド式（処方は車椅子処方箋に記載すること。）

モジュラー式で対応できない理由（必ず記載すること。）

ウ レディメイド式（カタログを添付すること。）

メーカー名：

品 番：

構造部品	基本構造	01. 幅止め	フット・レッグサポート	11. 挙上式 12. 着脱式 13. 開閉着脱式 14. 挙上・開閉着脱式 15. レッグベルト全面張り	ブレーキ	28. 介助用ブレーキ 29. フットブレーキ
	シート	02. 張り調整式 03. 板張り式 04. 奥行調整	フットサポート	16. セパレート式（二重折込） 17. 中折式 18. 前後調整 19. 角度調整 20. 左右調整	駆動輪・主輪	30. 着脱式 31. 車軸位置調整部品 32. キャンバー角度変更 33. 片手駆動 34. レバー駆動
					タイヤ	35. ノーパンク
	バックサポート	05. 張り調整式 06. ワイドフレーム 07. バックサポート延長（頭頸部まで） 08. 高さ調整 09. 背座角度調整 10. 背折れ	アームサポート	21. 固定式（独立型） 22. 跳ね上げ式 23. 着脱式 24. 高さ調整 25. 角度調整 26. 幅広 27. 延長	キャスタ	36. 衝撃吸収タイプ
					ハンドリム	37. ステンレス 38. アルミ 39. ピッチ 30mm超 40. 片手駆動

※構造部品名（番号）、個数及びその必要理由をこの欄に具体的に記載すること。

クッション	01. 平面形状型 02. モールド型 03. ゲル素材 04. 多層構造又は立体編物 05. 滑り止め加工 06. 防水加工	ヘッドサポート	独立構造	15. 着脱式（枕含む） 16. マルチタイプ（枕含む） 17. 枕オーダーメイド	その他	27. テーブル 28. カットアウトテーブル 29. テーブル取付部品 30. 転倒防止装置（パイプ、キャスター付き、キャスター付き折りたたみ） 31. 搭載台（呼吸器、痰吸引機、携帯用会話補助装置） 32. 杖たて（一本杖用、多脚つえ用） 33. 泥よけ 34. スポークカバー 35. リフレクタ 36. 日よけ 37. 雨よけ 38. 高さ調整式手押しハンドル 39. ブレーキ延長レバー 40. ハンドリム滑り止め 41. ハンドリムノブ付き（通常） 42. ハンドリムノブ付き（垂直） 43. 酸素ボンベ固定装置 44. 栄養パック取付用ガードル架 45. 点滴ボール 46. 車載固定フック
			枕のみ	18. 枕（オーダーメイド） 19. 枕（レディメイド）		
座板	07. 座板のみ 08. クッション一体型	フットサポート	20. ヒールループ 21. アンクルストラップ 22. ステップカバー			
姿勢保持部品	09. 体幹パッド 10. 骨盤パッド 11. 足部保持パッド 12. その他の姿勢保持部品					
背クッション	13. 背クッション 14. 滑り止め加工	ベルト部品	23. 胸 24. 骨盤 25. 股 26. その他の部位			

※付属品名（番号）、個数及びその必要理由をこの欄に具体的に記載すること。

※上記以外の付属品、姿勢保持装置の完成用部品又は市販のクッション等が必要な場合は、この欄に名称、個数及び必要理由を記載し、価格が記載されたカタログ等（写し）を添付すること。

年 月 日

医療機関名
所在地
診療科名

医師名
（記名押印又は署名）

補 装 具 費 支 給 意 見 書（ 内部障害用 ）

（令和 8 年 7 月改訂）

（車椅子・電動車椅子用）

氏 名	年 月 日 生（ 歳）
原因となった疾病名	
参考となる経過・現症	
その他参考となる合併症状	
車椅子・電動車椅子の必要性 *車椅子・電動車椅子によらなければ歩行機能を代替できない理由、歩行に著しい制限を受ける理由、歩行により症状の悪化をきたす理由等について、医学的所見を記載してください。	
使用効果見込み *車椅子・電動車椅子使用により可能となることを記載してください。 ・屋内移動 ・屋外移動 ・介助が不要となる ・その他（具体的に）	
上記のとおり意見する。 年 月 日 病院又は診療所名 所在地 診療担当科名 医師氏名 （記名押印又は署名）	

車椅子処方箋

(令和8年7月改訂)

市町村名		氏 名		生年月日	年 月 日 (歳)	
身長・体重	c m/ kg		主な使用場所	☐ 屋内	☐ 屋外 ☐ 屋内外	
基本価格	☐ 標準 ☐ 頭頸部		☐ 新規支給（1台） ☐ 再支給（(注)1、2、3が同じ場合） ☐ 再支給（(注)1、2、3が全部または一部異なる場合） ☐ 2台同時支給			
本体価格	名 称 (注)1	☐ 自走用 ☐ 介助用				
	製作方式(注)2	☐ モジュラー式（標準） ☐ レディメイド式 ☐ オーダーメイド式				
	※モジュラー式、レディメイド式の場合は、メーカー名、製品名、型番などを正確に記入し、カタログの写しを添付すること。					
加算要素	機 構 (注)3		☐ リクライニング機構 ☐ ティルト機構 ☐ ティルト・リクライニング機構 ☐ リフト機構			
	構 造 部 品	基本構造	☐ 後方大車輪（標準） ☐ 前方大車輪 ☐ 6輪構造 （加算項目） ☐ 幅止め×（ ）			
			シート	☐ スリング式（標準） ☐ 張り調整式 ☐ 板張り式 （加算項目） ☐ 奥行調整		
		バックサポート		☐ スリング式（標準） ☐ 張り調整式 （加算項目） ☐ ワイドフレーム ☐ バックサポート延長（頭頸部までの場合） ☐ 高さ調整 ☐ 背座角度調整 ☐ 背折れ		
			フット・レッグサポート	☐ 固定式（標準） ☐ 挙上式 ☐ 着脱式 ☐ 開閉着脱式 ☐ 挙上・開閉着脱式 ×（ ） ×（ ） ×（ ） ×（ ） ×（ ） （加算項目） ☐ レッグベルト全面張り		
		フットサポート		☐ セパレート式（標準） ☐ セパレート式（二重折込式） ☐ 中折式 （加算項目） ☐ 前後調整（右・左） ☐ 角度調整（右・左） ☐ 左右調整（右・左）		
			アームサポート	【フレーム一体型】 ☐ 固定式（標準） ☐ 跳ね上げ式（右・左） ☐ 着脱式（右・左）		
		【独 立 型】 ☐ 固定式（右・左） ☐ 跳ね上げ式（右・左） ☐ 着脱式（右・左）				
		（加算項目） ☐ 高さ調整（右・左） ☐ 角度調整（右・左） ☐ 幅広（右・左） ☐ 延長（右・左）				
		ブレーキ	☐ 駐車ブレーキ（標準） （加算項目） ☐ 介助用ブレーキ ☐ フットブレーキ			
			駆動輪・主輪	☐ 固定式（標準） ☐ 着脱式 （加算項目） ☐ 車軸位置調整 ☐ キャンバー角度変更 ☐ 片手駆動 ☐ レバー駆動		
		タイヤ		☐ エアアー（標準） ☐ ノーパンク		
		キャスタ		☐ ソリッド（標準） ☐ 衝撃吸収タイプ		
		ハンドリム	☐ プラスチック（標準） ☐ ステンレス ☐ アルミ			
			（加算項目） ☐ ピッチ 30mm 超（右・左） ☐ 片手駆動			

車椅子処方箋

(令和8年7月改訂)

付 属 品	クッション (カバー付き)	□平面形状型 □モールド型	
		(加算項目)	□ゲル素材 □多層構造又は立体編物 □滑り止め加工 □防水加工
	姿勢保持部品 (姿勢保持装置部 品)	□体幹パッド (右・左) □骨盤パッド (右・左) □足部保持パッド (右・左) □その他 () × ()	
	座 板	□座板のみ	
		(加算項目) □クッション一体型	
	背クッション	□背クッションのみ	
		(加算項目) □滑り止め加工	
	ヘッドサポート	独立構造	□着脱式 (枕含む) □マルチタイプ (枕含む)
			(加算項目) □枕オーダーメイド製作
		枕のみ	□枕 (オーダーメイド) □枕 (レディメイド)
	フットサポート	□ヒールループ (右・左) □アンクルストラップ (右・左) □ステップカバー (右・左)	
	テーブル	□テーブル □カットアウトテーブル (姿勢保持装置部品) □テーブル取付部品 × ()	
	転倒防止装置	□パイプ × () □キャスタ付き × ()	
		(加算項目) □キャスタ付き折りたたみ × ()	
	ベルト部品 (姿勢保持装置部品)	□胸 □骨盤 □股 □その他の部位 () × ()	
搭載台	□呼吸器搭載台 □痰吸引機搭載台 □携帯用会話補助装置搭載台		
杖たて	□一本杖用 × () □多脚つえ用 × ()		
□泥よけ × () □スポークカバー × () □リフレクタ × () □日よけ □雨よけ □高さ調整式手押しハンドル × () □ブレーキ延長レバー (右 cm・左 cm) □ハンドリム滑り止め × () □ハンドリムノブ付き (通常) × () □ハンドリムノブ付き (垂直) × () □酸素ボンベ固定装置 □栄養パック取付用ガードル架 □点滴ボール □車載固定部品 × ()		【車椅子採寸表】 ※必ず記載すること。 ・座幅 () c m ・座奥行 () c m ・バックサポート長 () c m ・アームサポート高 () c m ・前座高 () c m ・後座高 () c m	
※上記以外の付属品、クッションが必要な場合、名称、個数を正確に記載すること。			
処 方	年 月 日	製作予定事業者名	
	医療機関・診療科名 医 師 名 (記名押印又は署名)	(担当者名 :)	
		種目名称別コード	

車椅子判定依頼調査書

[illegible]

車椅子・電動車椅子のクッションの比較検討状況について

氏 名: _____ 生年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 (_____ 歳)

【クッション】

※ 注1 試用した(a)「告示に定められているクッション」、(b)「市販品のクッション」の比較検討状況について記載してください。

注2 試用するも、適合しなかったクッションについても記載してください。

(カタログに記載の一般的な内容ではなく、「対象者にとって」という個別の視点で記載すること。)

	メーカー (商品名)	特徴	試用期間・ 時間	希望理由・結果 (使用感や特に不都合があるところを具体的に記載すること。)
記載例	(b) ベルモビ ル社 (ロホ・ク アドロセ レクトハ イタイ プ)	体圧を分散し、摩擦と ずれを軽減します。空 気圧の調整が簡単で、 体の形状にフィットし、 組織の変形を最低限に 抑えます。	RO.O.O ~ RO.O.O (1日2時間)	感覚障がい(感覚脱失)があり、褥瘡の危険性が高い。 試用した結果、臀部の発赤等も見られなくなった。座位姿 勢も安定していて問題なかった。
申請の クッション				
他に比較 検討した クッション				

※ 比較検討したクッションがない場合は、その理由を記載してください。

記入日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

記入者:

(職種:

)